



弘前市では弘前公園周辺の地域を、歴史と緑が作り出す風格ある景観都市に整備する事業を進めている。この地域からは岩木山の眺望が美しく、周辺に弘前を代表する史跡を多く抱えていることから、これらに調和し個性的な景観道路として整備を行ったものが、「城西大橋」である。橋の設計にあたっては、伝統工芸品の津軽塗をテーマとして、津軽の伝統・風土を表現している。

親柱は津軽塗の文様付けに用いる仕掛べらをブロンズで造形的にアレンジし、高欄にも別の仕掛べらのパターンを鋳物仕上げで配置した。また、照明灯も同じイメージのもとに練りべらをヒントにデザインするとともに、緑色を多く用いた全体の色彩や街路樹のヤマボウシなども周辺との調和に配慮したものである。

## DATA・BOARD 32



- ① 青森県弘前市南袋町
- ② 延長：620m(橋梁部分190m), 幅員：14.8~31.8m
- ③ オブジェ、親柱、高欄、照明灯、植栽
- ④ ブロンズ、黒御影石、アルミ鋳物、磁器質タイル